



市長日記

和牛の祭典へ出品

鹿児島県で10月6日から開催する全国和牛能力共進会。この共進会に、島根県代表牛（部門：第3区（若雌の2））として出品する田口好美さん（伯太町下小竹）宅を訪問し、激励しました。

5年に1度、「和牛日本一」を決める国内最大の和牛の祭典で、再び、安来和牛の名声が高まることを期待しています。



出品する牛（名号…ひみましゅひめ）を手入れする田中市長（8月31日）。



紹介します
出来事を
まちな話
とぴくす

たうんとぴくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



山中鹿介幸盛をしのぶ幸盛祭。その内の幸盛マラソンでは、月山富田城跡を約90人が駆け抜けました。山頂までの約1.9kmを早い人だと10分ほどでゴール。毎年走っている人も多く、勾配のきつい山道でも軽快な走りが見られました。 9月25日：月山富田城跡



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



メガネ拭きで啓発

▲作成したメガネ拭きを持つ山岡会長。消費者ホットラインの連絡先(188)も書かれています。

消費者被害の防止につなげようと、安来市消費者問題研究協議会が9月28日に、啓発用のメガネ拭きを作成し、田中市長へお披露目しました。

このメガネ拭きには「詐欺」「強引な勧誘」「うまい話」にダマされないでと注意喚起を促す言葉を掲載。1,000枚作成し、年金支給日に合わせて同協議会が行う啓発活動で配布されます。

同協議会の山岡公代会長は「メガネ拭きだけでなく、携帯電話でも利用できる。普段から持ち歩き、被害防止に役立ててもらえれば」と話していました。

楽しく自然を学ぶことを目的としている島田交流センターのわんぱくクラブ。9月10日になぎさ公園でカヌー体験が行われました。講師は安来中央スポーツ少年団の野坂啓二さん、坪倉誠さん、上杉達美さん。砂浜でオールを使い方などを教わりました。

砂浜で練習の後は中海へ。風が強くカヌーに向いた日ではありませんでしたが、子どもたちはすぐにコツをつかみ、すいすいと中海を進んでいました。

伊藤温都さんは「砂浜側^{はるど}に流されてしまって難しかったです」と話していました。



カヌーで自然体験

▲初めてカヌーに乗る子どもたちがほとんどでしたが、数分ほどで方向転換も自由自在に。



▲表彰式終了後、受賞者らは審査員を前に作品への思いや工夫した点について語っていました。

市民に美術作品の発表と鑑賞の場をつくろうと「第16回安来市美術展」を9月10～15日に、市総合文化ホールアルテピアで開催しました。

会場には4部門（洋画、デザイン、写真、日本画・水墨画）の計97作品が展示され、来場者は感性豊かな力作を鑑賞し、芸術の秋を堪能していました。

デザイン部門で奨励賞を受賞した安来高校3年の金子彩菜さんは「デザインと洋画部門に応募しました。今後も、一つのジャンルに絞らずに新たな作品にチャレンジしていきたい」と話していました。

市美展、力作を一堂に

高齢者の交通事故防止や交通安全の意識を高めてもらおうと9月16日、「交通安全高齢者の主張 安来地区大会」をアルテピアで開催しました。

大会では、市内各地区から推薦された4人の代表者が自身の体験をもとに発表。交通安全の重要性や心構えなどをスピーチしました。

発表者の1人、石倉貞文さんは「子供たちの思い願いを胸に」と題して発表。「約30年前に小学生から運転者に配られた手紙が運転する上で、今でも心の支えになっています」と話していました。



▲スピーチする石倉さん。11月11日に行われる島根県大会に安来地区の代表として出場します。

交通安全高齢者の主張

伝統的な発酵食品で免疫力を上げてもらおうと、9月16日に能義交流センターで、金山寺味噌づくり教室が行われました。

講師は矢田醤油店代表の矢田潤一郎さん。おいしくつくるために作り方だけでなく、どうしてそうなるのか理由もセットで伝えていました。混ぜる野菜は持ち込み可能で、ニンジンやキュウリ、ナスなどで参加者オリジナルの金山寺味噌に。参加した勝部咲子さんは「次に自分でつくるときはシソを入れてみたいです」と話していました。



▲こうじを混ぜる参加者。その熟成後のもろみに野菜を混ぜてオリジナル味噌も作りました。

自分だけの金山寺味噌



▲母里地区の住民ら18人が参加。地域資源の活用に向け、積極的に質問をしていました。

観光資源でまちづくり

地域資源を生かしてまちの観光につなげてもらおうと9月17日に「母里地区 観光まちづくりセミナー」が母里交流センターで行われました。

講師で地域セラピストの中村雅子さんは、これからの観光は地域にある資源にはどんなストーリーが存在するかを考えることが必要と指摘。人の力=案内人（観光ガイド）の役割が重要と説明しました。

主催した株式会社JTＢの柴田克利部長は「今後もセミナーを通じて、地域で活躍する観光ガイドのスキルアップにつなげていければ」と話していました。

